

平成27年度 高冷地水稻生育速報(第1報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(6月2日調査)

品種名	年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色		葉齢
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	27.8 (113%)	133 (119%)	4.1 (+0.7)	32.7 (+2.8)	5.3 (-0.3)
	前年	21.5	76	2.8	28.0	5.2
	平年	24.5	112	3.4	29.9	5.6
ひとめぼれ	本年	25.1 (109%)	101 (91%)	4.0 (+0.8)	32.1 (+3.1)	5.6 (+0.0)
	前年	18.4	78	3.1	29.9	5.2
	平年	23.0	111	3.2	29.0	5.6
たかやまもち	本年	26.8 (107%)	89 (91%)	4.0 (+0.8)	30.9 (+3.1)	5.4 (-0.1)
	前年	21.4	96	2.8	28.3	5.7
	平年	25.0	98	3.2	27.8	5.5
ひだほまれ	本年	25.6 (103%)	118 (130%)	4.1 (+0.9)	32.4 (+4.6)	5.8 (+0.2)
	前年	18.5	75	2.8	26.8	5.6
	平年	24.9	91	3.2	27.8	5.6

栽培条件: 移植5月14日 栽植密度21.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a
 ただし、H25年度以前の栽植密度は 22.2株/m²、平成26年度は18.2株/m²
 平年値: 過去5年間(H22年~H26年)の平均値
 ()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 気象概況

本年は4月第5半旬以降より好天が続いており、日照時間は平年に比べて多く、気温も高めで、特に最高気温が高く推移している。なお、降雨は少ない状況で、5月の降水量は平年の41%に留まった。

2) 生育状況

育苗期間を通じた高温の影響により、移植時の苗はやや徒長気味で、コシヒカリについては草丈が20cmを超える徒長程度となった。移植後の天候は良好であったが、活着はゆっくり進み、葉令はコシヒカリが平年より0.3令遅れるものの、その他の品種についてはほぼ平年並みかわずかに早い程度となっている。分けつは始まったところであり、茎数の増加は品種間でばらつきがみられるが、草丈はいずれの品種も平年よりも長く、葉色についても葉色板、SPAD値ともに平年より高い状況である。

3) 病虫害等の発生状況

イネミズゾウムシによる食害痕が昨年度と同様に5月第6半旬より散見されるようになった。また、表層はく離が早期から発生しており、今後の雑草発生について注意が必要である。

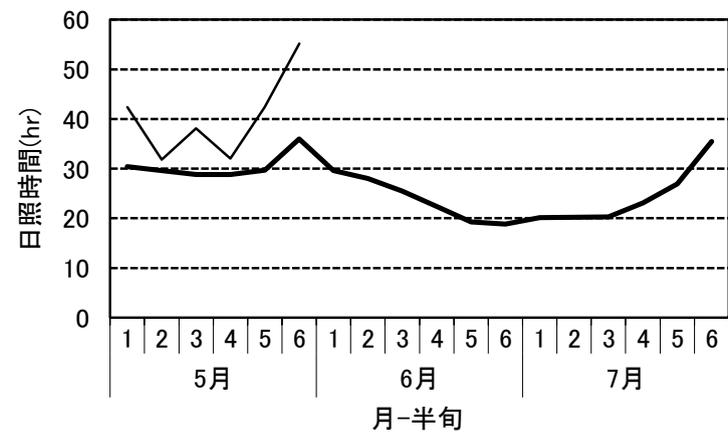
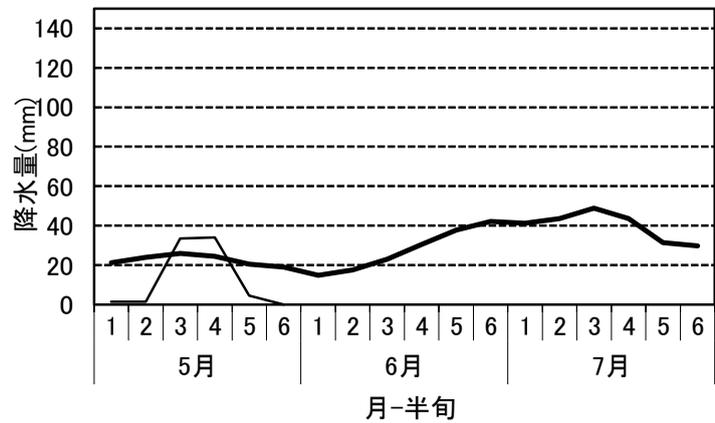
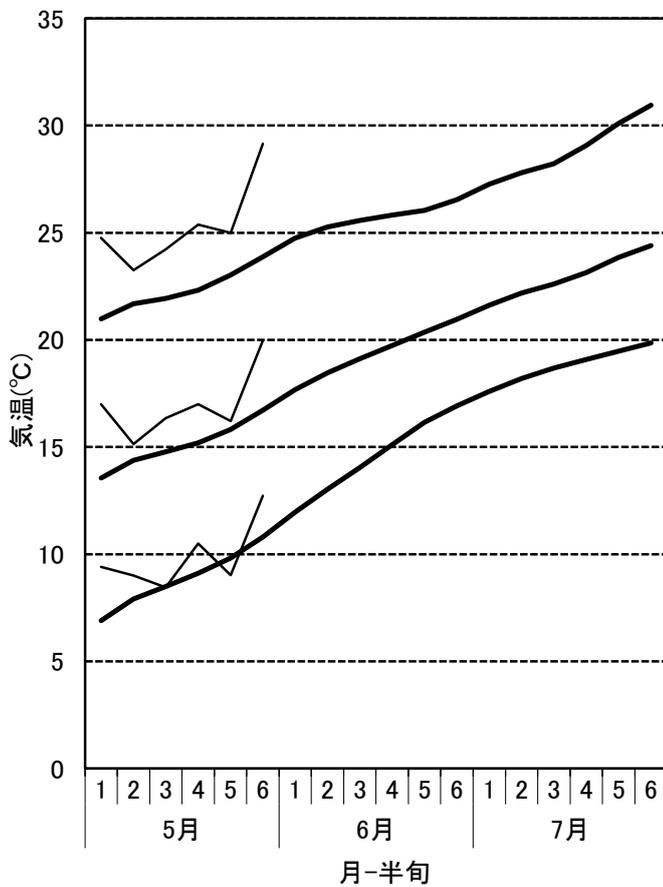
4) 今後の管理

「早期中干し」は生育促進、土壌中のガス抜き及びアオミドロ・藻類対策として効果がある。しかしながら、早期中干しによる除草剤の効果低下も心配されるため、落水期間は2~3日とする。干し加減については、田面に細いヒビが入る程度で、干し過ぎず、田面を軽く固める程度とする。なお、早期中干し後は、浅水の間断灌水で管理し、根を健全に保つとともに分けつを促す。

<参考> 前回調査時(x月x日)の生育概況

品種名	年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年					
	前年					
	平年					
ひとめぼれ	本年					
	前年					
	平年					
たかやまもち	本年					
	前年					
	平年					
ひだほまれ	本年					
	前年					
	平年					

<参考> 半旬別気象図(高山市アメダス, 6月2日現在)



—— 平年(1981~2010年) —— 本年(2015年)

岐阜県中山間農業研究所
 TEL 0577-73-2029
 FAX 0577-73-2751
<http://www.cc.rd.pref.gifu.lg.jp/k-agri/>